

平成25年度後期開催講座

会場：星薬科大学

月日	講座名	時間	受講料	講座内容	単位
10/6 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 ・ 17:00	2,000円	産婦人科治療 up to date ● 排卵障害の最新の知見と時間薬理学を取り入れた治療 中沢 和美(東海大学医学部専門診療学系産婦人科) ● 華麗なる加齢のために—ホルモン補充療法の誤解と真実 高松 潔(東京歯科大学市川総合病院産婦人科)	2
10/19 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 ・ 20:30	3,000円	がん化学療法と緩和ケア(5) ● Liquid Biopsy の新展開:なにがどこまでわかるのか? 落谷 孝広(国立がん研究センター研究所) ○【症例検討】	2
11/9 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 ・ 20:30	3,000円	がん化学療法と緩和ケア(6) ● 新しいがん免疫療法の開発について 青木 一教(国立がん研究センター研究所) ○【症例検討】	2
11/10 (日)	大学院講義連携講座 (がん治療・緩和医療特別講義Ⅰ)	13:30 ・ 17:00	2,000円	乳がん診断・治療 up to date ● 乳がんの疫学・診断・検診について 片岡 健(広島大学大学院医歯薬保健学研究院) ● 乳がん治療最前線—標準治療と個別化の間にて— 中村 清吾(昭和大学医学部乳腺外科)	2
12/1 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 ・ 17:00	2,000円	インフルエンザ治療 up to date ● 抗インフルエンザ治療薬“ラニナミビル”の創製と開発 小林 慶行(第一三共株式会社創薬化学研究所) ● インフルエンザ治療の現在と未来 小林 治(杏林大学保健学部)	2
12/14 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3,000円	がん化学療法と緩和ケア(7) ● オピオイド製剤のピットフォール:症例を通じて 山口 重樹(獨協医科大学医学部) ○【症例検討】	2
2/8 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3,000円	がん化学療法と緩和ケア(8) ● 痛みを慢性化させる脳メカニズム 仙波 恵美子(和歌山県立医科大学) ○【症例検討】	2
2/16 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 ・ 17:00	2,000円	真菌アレルギー・真菌症の診断・治療 up to date ● (環境)真菌と(気道)アレルギー 谷口 正実(国立病院機構相模原病院) ● 皮膚真菌症の診療 up-to-date 望月 隆(金沢医科大学)	2
3/2 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 ・ 17:00	2,000円	皮膚疾患と薬物療法の最先端 ● ニキビと皮膚感染症での薬物治療 関根 万里(東京都立荏原病院皮膚科) ● アトピー性皮膚炎、乾癬の先端医療 五十嵐 敦之(NTT東日本関東病院皮膚科)	2
3/9 (日)	日本肥満学会連携講座	13:30 ・ 17:00	2,000円	生活習慣病改善指導 ● 医療に携わる人のための～肥満症と脂質異常～ 横手 幸太郎(千葉大学大学院医学研究院) ● 肥満症と内臓脂肪 山内 敏正(東京大学大学院医学系研究科)	2 ※
3/26 (水)	ファイザー共催 WEBシンポジウム	19:30 ・ 21:00	1,000円	眼科治療 up to date ● 薬剤師に必要な緑内障の基礎知識—病態から治療まで— 富田 剛司(東邦大学医療センター大橋病院眼科) ● 緑内障患者のアドヒアランス向上のための服薬指導のポイント 菊池順子(新お茶の水ファーマシー代表取締役)	1
5月 12月	社会人大学院(夜間開講) 講義受講コース	19:00 ・ 21:00	3,000円	詳細はこちらをクリック ➡ http://www.hoshi.ac.jp/home/nintei/pdf/h25vakan.pdf	1.5

・星薬科大学認定薬剤師認定単位を2単位取得できます。ただしファイザー共催セミナーは1単位、夜間講義受講コースは1.5単位の取得となります。

・大学院講義連携セミナーは日本緩和医療薬学会の後援を得ているため、本学認定単位または日本緩和医療薬学会認定単位のいずれかを選択することができます。

※日本肥満学会連携講座は日本肥満学会と共催のため、希望者には生活習慣病改善指導士の認定試験申請資格に関わる単位(2単位)にも付与されます。